

## 要介護認定事務にAIの言語処理技術を適用した 実証実験の中間報告会を開催します



ターゲット 3.8

令和2年1月24日

郡山市保健福祉部

介護保険課

担当：七海 満

TEL：924-3021

SDGs ターゲット 3.8 「すべての人々に対する質の高い基礎的なヘルスケア・サービスへのアクセスの実現」

株式会社NTTデータ東北様と郡山市が共同で実施してまいりました、要介護認定事務にAIの言語処理技術を適用させる実証実験の中間報告会を開催します。

- 1 日時 2月4日(火) 午後3時30分
- 2 場所 市役所秘書課庁議室（本庁舎2階）
- 3 出席者 株式会社NTTデータ東北

代表取締役社長 濱 功明 様

公共事業部 事業部長 秋元 聡 様

法人事業部 副事業部長兼

デジタルトランスフォーメーションオフィス室長 杉山 光宏 様

デジタルトランスフォーメーションオフィス 開発部長 大森 知竹 様

公共事業部 営業部 課長 相場 映希 様

郡山市長

保健福祉部長

#### 4 実証実験の内容

要介護認定事務の認定調査票について、基本調査項目の選定内容と特記事項の記述内容の整合事務においてAI機能を活用する。

#### <経緯・背景>

日本はいま、急速な勢いで超高齢化社会を迎えており、介護を必要とする方は、2019（平成31）年3月末日現在で658.2万人に達し、介護保険制度が開始された2000（平成12）年の256.2万人と比較すると、およそ2.6倍にも増加しています。要介護認定者数の増加に伴い、保険者（市区町村）における事務量も増加しており、郡山市においても、その負担が大きな課題となっています。

こうした中、「働き方改革」や「生産性の向上」等、自治体においても労働環境の変化が求められており、『限られた職員数で、増え続ける事務量を、どのように処理していくか』という課題解決の一つとして、ICT技術、特にAIの活用が注目されています。

この度、株式会社NTTデータ東北様から、『最先端技術で、市民サービスの向上と職員の働き方改革の両方を実現させたい』とのご意向をいただき、今回のプロジェクト始動となり、令和元年12月4日に、その共同実施について、株式会社NTTデータ東北様と郡山市が協定を締結いたしました。